

# 成年後見もやい

発行者：NPO法人成年後見もやい  
〒456-0031 名古屋市熱田区神宮二丁目3番4号もやいビル

第2号

2019年1月10日発行

電話 052-746-9395

FAX 052-746-9396

メール

koukenmoyai@hi3.enjoy.ne.jp

## 明けましておめでとうございます。

昨年の漢字は「災」でした。自然災害の多発、財務省の決裁文書の改ざん、スポーツ界のパワハラ、障害者雇用の「水増し」問題、大学の不正入試問題等々が思い起こされ、優生思想の影響・浸透も見逃すことができません。

岡山の「やまゆり園事件」、優生保護法による強制不妊手術が大きな社会問題となっていますが、「出生前診断の問題」も考えさせられます。出生前診断でダウン症の陽性反応が出た場合の中絶率は96%以上に達していると毎日新聞。ダウン症の子を持つ親として考えさせられます。我が家のことですが、2人目の妊娠の時、医者から「検査して堕すことができます」と言われたことが、今も強く心に残っていると妻は語っています。



障害者権利条約のめざすインクルージョン（障害のある人とない人を分けない）な社会、「みんなちがって、みんないい」社会をめざす一翼を成年後見もやいも担っていきたいと思います。

障害者の“親なき後問題”の解決のためにと創られた成年後見もやいは、正会員は14団体と個人29名、賛助会員は39名の組織に成長しました。家庭裁判所から法人後見・保佐の受任を13件受け、18名の後見支援員で力を合わせて後見・保佐活動を進めています。

毎月の後見支援員交流会では、後見・保佐の状況報告と問題点を出し合い、今後のすすめ方を組織的に確認しあっています。前回の交流会では、「お骨やお墓をどうするか」「家族の他界の順によって金銭管理の中身が変わってしまう」など多岐にわたる相談や心配事などが出され、意見交換を行っています。

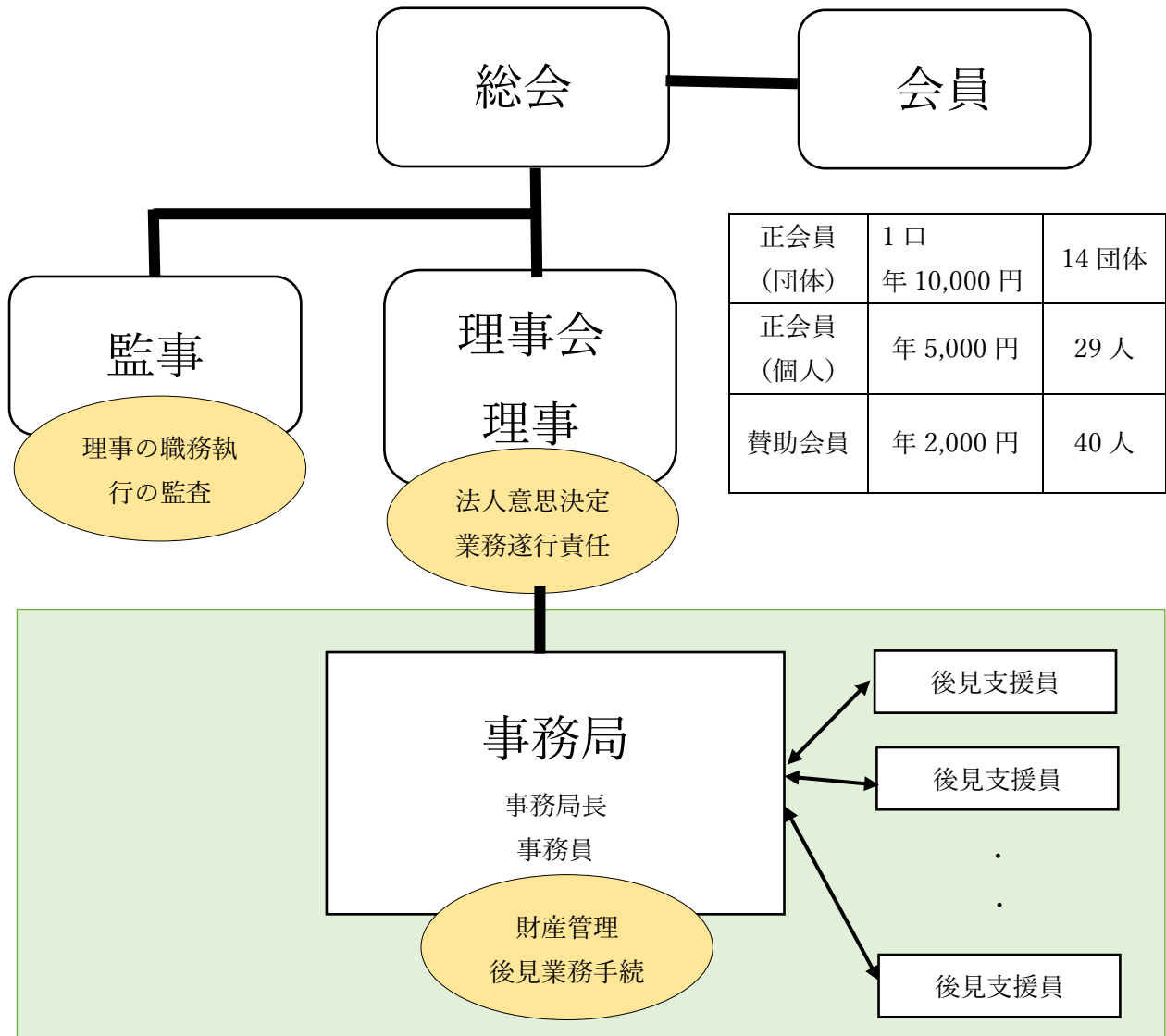
中日新聞が連載したメメント・モリ「終（つい）を支える」の記事が切実な現代です。1年間に130万人以上が亡くなる多死社会、人生の最後をどこで迎えるか。病院での死亡が7割を超えるが、自宅で最期をと望む人は7割超に及んでいる。実際に自宅で最期を迎えた人は1割強にとどまっている現実など“親なき後問題”での新たな面での後見活動が求められていると思います。

みなさんの期待に応えるため成年後見もやいを健全に発展させなければと新年の決意を役員一同固めています。今年度は、財政の安定をめざし認定NPO法人制度の「認定」をめざし、その絶対値基準「3,000円以上である寄付者の数が年平均100人以上」をクリアするため、来年度の賛助会費を3,000円に引き上げ、賛助会員の拡大を強めます。「認定」を受けると「寄付金控除」を受けられるなど税制上の優遇措置が受けられるなど、NPO法人の活動を支援するために設けられた制度です。

みなさんのご協力をよろしく申し上げます。

# 成年後見もやいの組織図

2019.3.5 現在



総会 年 1 回 (臨時総会は適宜)

理事会 年 5~6 回 (原則 2 か月毎)

後見支援員説明会・講習会 (年 1、2 回) 後見支援員登録者数 19 人

(社会福祉士 8 人、精神保健福祉士 3 人、介護福祉士 3 人、保育士 1 人 (重複取得有り))

後見等受任状況 (単位: 人)

	在宅	入院	GH	施設入所	計
後見	3	1	3	4	11
保佐	2			1	3
計	5	1	3	5	14

他に、重度身体障害者 (身障グループホーム入居者) の金銭管理業務 2 人

# 後見支援員になって

近藤左千夫



成年後見もやいの活動に関わることになったきっかけは、昨年の秋に催されたりサイクル港作業所の一泊旅行の帰り道で、小松さんから「成年後見もやいを愛知で立ち上げたので後見支援員になって欲しい」と誘われたのが最初でした。

それ以降、もやいの事務所で後見支援員学習会に参加し、私が担当する“本人”と顔合わせも済み、今に至っています。後見支援員の親睦を深めることを兼ねた忘年会はとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

私が、もやいの後見支援員の活動として大切にしたいことは三つあります。第一は、本人のねがいに寄り添って、本人を主人公にして陰ながら援助する役割です。

第二は、人が生きていくうえで最も大切な衣食住を柱として、本人のねがいを本人、職場管理者、ヘルパー等と連絡を取り合って、年に1、2回はみんなで話し合いを持つことが必要であることです。人が働くためには、いつも健康でないといけません。特に、食事（栄養バランス）には気をつけていきたいと思っています。一人で生活しているとややもすると、コンビニ中心の食べ物になったり、好きなものばかりを食べたりしてしまいます。

よく言われるのは、信号機の色（赤、緑、黄）の物をバランスよく摂取するのがいいと言われています。そんなことにも気を付けていきたいと思っています。

第三に、月に1回は、本人と会ったり、電話をしたりして、食事、仕事、あそび等の様子を聞き、必要ならば支援していきたいと思っています。

長い付き合いになるかもしれないので、ぼちぼちやっていきたいと思えます。

本人から年賀状がきました。「本年もよろしく」とあり、とても嬉しく思いました。私からも「本年もよろしくお願いします。」

## 成年後見もやい学習会のお知らせ

テーマ「成年後見の概要と事例から考える障害者の成年後見制度利用」

日時 2019年3月18日（月）午後2時～4時

場所 あいち障害者センター 電話 052-746-9395  
名古屋市中区熱田区神宮二丁目3番4号もやいビル

参加費 1,000円（資料代含む。）先着20名まで

申込方法 ファックス、電話、メール

## 参加申込書

氏名 .....

連絡先 .....

団体・職場名 .....

電話 052-746-9395 F A X 052-746-9396

メール koukenmoyai@hi3.enjoy.ne.jp

## 事務局からのお知らせ

皆さん方からご相談をお待ちしています。遠慮なくご相談を・・・

052-746-9395

成年後見もやいは、正会員、賛助会員の支援と寄付金を受けて運営しています。

正会員 個人 年間 5,000 円

法人・団体 1口年間 10,000 円

賛助会員 年間 2,000 円

(2019年度から 3,000 円)

郵便振替先 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00850-0- 188830

加入者名 特定非営利活動法人成年後見もやい